

日本中世英語英文学会創立総会（1984年12月15日 明治学院大学）

司会 水鳥喜喬

開会の辞 寺澤芳雄

会長講演 松浪 有（青山学院大学）：頭韻から脚韻へ

活動方針説明 齋藤 勇

第1回全国大会（1985年12月7 - 8日、青山学院大学）

研究発表

1. 近藤健二（名古屋大学）：名詞における階層と文法における「性」
司会 水鳥喜喬
2. 藤原保明（筑波大学）：古英詩拡大半行と韻律論
司会 佐藤修二
3. 米村泰明（神奈川大学）：Towneley Cycle に見る悪の主従関係
司会 黒川樟枝
4. 田巻敦子：『農夫ピアズの夢』における告解の系譜
司会 齋藤 勇
5. 建部真子（成城大学大学院）：「騎士の話」 その三つの解釈
司会 河崎征俊
6. 柴田竹夫（親和女子大学）：The Canon's Yeoman's Tale “ignotum per ignocius”
をめぐって
司会 齋藤朋子
7. 佐藤 昇（関東学院大学）：Beowulf 499 Hunferð について
司会 丹羽義信
8. 長谷川寛（日本大学）：『ベーオウルフ』に描かれた女性像 三王妃を中心に
司会 大場啓蔵
9. 中道嘉彦（麗澤大学）：Gawain-poems における否定辞について
司会 田島松二
10. 松原良治（神戸大学）：中英語韻文ロマンスにおける非人称構文 人称構文への推移の分布状況を中心に
司会 米倉 綽
11. 有村安生（九州共立大学）：Thomas Hoccleve の嘆きの文学
司会 関本栄一
12. 鈴木榮一（東北学院大学）：The Buik of the Croniclis of Scotland における頭韻詩語について
司会 池上 昌

シンポジウム

1. チョーサーの英語 Troilus and Criseyde の場合
司会・講師 松浪 有（青山学院大学）
講師 中尾佳行（山口大学）
講師 繁尾 久（明治学院大学）

第2回全国大会（1986年12月6 - 7日、中京大学）

研究発表

1. 水野知昭(日本大学): 悪しき者なるかな Beowulf 異人と誤射伝説の周辺
司会 忍足欣四郎
2. Gregory K. Jember(佐賀大学): Some Observations on *Riddle 39*
司会 宮崎忠克
3. 真鍋和瑞(九州大学): 主語機能の ME 不定詞構造の消長考察 Visser に対する修正案
司会 米倉 綽
4. 大島 巖(中京大学): 大法院文書における綴字法と語形の不規則と不統一性についての一考察
司会 小林栄智
5. 西村公正(関西外国語大学大学院): OE *tīd* と *tīma* の使用分布の考察
司会 苅部恒徳
6. Yoshihiro Yoshino(立教大学): Some Neglected Aspects of Negation in OE Prose
司会 藤原 博
7. Roger Machin(中京大学): Gavin Douglas の散文について
司会 山川喜久男
8. 福井秀加(大手前女子大学): 初期のフランス語正書法 *Tractatus Orthographiae* について
司会 寺澤芳雄
9. 小路邦子(成城大学大学院): Malory における剣のモチーフ
司会 高宮利行
10. 松田隆美(慶応義塾大学): Vernon Refrain Lyrics の特色 死、無常、自己認識の主題を中心として
司会 二村宏江
11. 中村哲子(慶應義塾大学大学院): *The Clerk's Tale* と *Ogle* の 18 世紀英語訳
司会 佐々部英男
12. Michael Watson(明治学院大学): Chaucer and Secret Love
司会 須藤 淳
13. 黒川樟枝(川村短期大学): サイクル劇の elocution について
司会 奥田宏子
14. 山本俊樹(成蹊大学): *Cleanness* における終末観
司会 田中幸穂
15. 野地 薫(明治学院大学大学院): *The Complaint of Mars* にみられる Chaucer のアイロニー
司会 菅野正彦
16. 宮島澄子(東京電機大学): The Nun's Priest's Tale は動物寓話なのか
司会 小長谷彌高

シンポジウム

1. 中世英文学における女性像

司会・講師 齋藤 勇 (同志社大学)
 講師 浜口 恵子 (徳島文理大学)
 講師 秋篠 憲一 (同志社大学)
 講師 石井美樹子 (神奈川大学)

2. デーンローと Old English

司会・講師 久保内端郎 (東京大学)
 講師 秦 宏一 (東京都立大学)
 講師 William Schipper (国際基督教大学)
 講師 山縣 宏光 (東京大学)

第3回全国大会 (1987年11月28-29日、早稲田大学)

会長講演 齋藤 勇 (同志社大学): 'Business'考 チョーサーの「第二の修道女の話」をめくって

司会 池上忠広

研究発表

1. 木村聡雄 (関東学院大非常勤講師): 『カンタベリ物語』における「契約」について

司会 関本榮一

2. 齋藤俊一 (大東文化大学): チョーサーの「鳥の会議」における議会

司会 都留久夫

3. 谷口茂謙 (中央大学大学院): 門番の場の共通点 ヨーク劇の「陰謀」と『マクベス』

司会 須藤 淳

4. Tsuyoshi Hashimoto (神奈川大学): Love for the Invisible Being Meanings of the Appearance of Mark, a Farcical Being in the Sacred Play

司会 福井秀加

5. 山田利一 (静岡学園短期大学): 『カンタベリ物語』における夫婦像

司会 原田東雄

6. 野口俊一 (大阪教育大学): 脚韻詩『アーサーの死』のテキスト

司会 安東伸介

7. 宮川朝子 (羽衣学園短期大学): 道徳劇における“vices”の特質

司会 石井美樹子

8. 黒瀬 保 (西南学院大学): 運命の寓意と異界

司会 岡 三郎

9. 服部祥樹 (立教大学大学院): Wulfstan's *Homilies* における *Se þe Relative* とその「再叙」

司会 久保内端郎

10. 西成田道夫 (立教大学大学院): 古英語の動詞 *hālan* の意味

司会 秦 宏一

11. 吉田雅之 (早稲田大学大学院): ウィクリフ派聖書における二重母音の表記法 ai, ei を中心として

- 司会 池上 昌
12. 柳 さよ (福岡大学): *Ancrene Riwe* の関係代名詞 *þe* と *Ð*
司会 真鍋和瑞
13. 衛藤安治 (福島大学): *Beowulf* における *syn(n)*
司会 吉野利弘
14. 吉見昭徳 (明治学院大学): *Beowulf* における王と王権について Sigemund
挿話を中心にして
司会 忍足欣四郎
15. 小倉美知子 (都留文科大学): Simple Reflexive と Compound Reflexive
司会 苅部恒徳
16. 菅野正彦 (愛知教育大学): *The Miller's Tale* と *The Reeve's Tale* にみられる
言葉の違いについて
司会 岩崎春雄

シンポジウム

1. 古英語散文の系譜 宗教散文を中心に
司会・講師 小川 浩 (東京都立大学)
講師 井出 光 (関東学院大学)
講師 山内一芳 (静岡大学)
2. Chivalry in Medieval Literature and Life
Chair Hiroko Okuda (Tokoha Gakuin University)
Panelist Richard Barber
Panelist Toshiyuki Takamiya (Keio University)
Panelist Setsuko Haruta (Hiroshima University)
Panelist Tsuyoshi Mukai (Nagasaki University)

第4回全国大会 (1988年12月3 - 4日、同志社大学)

研究発表

1. 秦 宏一 (東京都立大学): *Ellorgast* の語義について
司会 宮崎忠克
2. 苅部恒徳 (新潟大学): *Beowulf* の鏡像構造について
司会 佐藤修二
3. 田中幸穂 (鹿屋体育大学): チョーサーの『白鳥の集い』拾遺
司会 繁尾 久
4. 丹羽義信 (中部大学): 古英語動詞接頭辞 *to-* について
司会 山川喜久男
5. Koji Yoshimura (Kansai Junior College of Foreign Languages): Color Expressions
in Chaucer's *The Canterbury Tales*
Chair Matsuji Tajima
6. 田巻敦子: 'パンプローナやローマの *pardon*' と 'ラウンシィヴァルの
pardoner'
司会 田島松二
7. 中尾祐治 (名古屋大学): *The Winchester Malory* と *Caxton's Malory* との間

Book V の Malory による改訂説批判

司会 野口俊一

シンポジウム

- 1 . 中世演劇の変容 中世劇からチューダー劇へ
司会・講師 藤井健夫 (関西外国語大学)
講師 栗駒正和 (大谷女子大学)
講師 奥田宏子 (神奈川大学)
講師 宮川朝子 (羽衣学園短期大学)
- 2 . 中世の社会と文学 *The Book of the Duchess* の場合
司会・講師 原田東雄 (広島修道大学)
講師 地村彰之 (三重大学)
講師 海老久人 (関西医科大学)
講師 都留久夫 (横浜国立大学)
- 3 . 中世文学の受容と読者
司会・講師 浅川順子 (都留文科大学)
講師 松田隆美 (慶応義塾大学)
講師 小沢 博 (大阪大学)
講師 向井 毅 (長崎大学)

第5回全国大会 (1989年12月2-3日、東京大学教養学部)

会長講演 寺澤芳雄 (東京大学): 語源研究の課題

司会 久保内端郎

研究発表

- 1 . 松田隆美 (慶応義塾大学): 『カンタベリー物語』と prudence
司会 齋藤 勇 (同志社大学)
- 2 . Koji Yoshimura (Kansai Junior College of Foreign Languages): The Transmutation of Chaucer's Color Expressions
Chair Isamu Saitou (Doshisha University)
- 3 . Setsuko Haruta (Hiroshima University): The End of an Adventure: *Sir Gawain and the Green Knight* and Chaucer's *Troilus and Criseyde*
Chair Hisashi Shigeo (Meiji Gakuin University)
- 4 . 原田東雄 (広島修道大学): チョーサーと黄金時代 *The Former Age* 解釈の試み
司会 繁尾 久 (明治学院大学)
- 5 . Tomomi Kato (Chiba University): BL Additional MS 59678 (The Winchester MS)
Chair Shunichi Noguchi (Osaka University of Education)
- 6 . 谷口茂謙 (神奈川大学非常勤講師): 中世宗教劇の < 上演布告 > と 『ヘンリー八世』
司会 藤井健夫 (関西外国語大学)
- 7 . 中村哲子 (慶応義塾大学大学院博士課程): Tudor Interlude となった < グリセルダの話 > John Phillip の *The Commodity of Patient and Meeke Grissill* をめぐって

- 司会 藤井健夫 (関西外国語大学)
8. 高田康成 (東京大学): 腰帯・過越・割礼
司会 奥田宏子 (神奈川大学)
9. 伊藤正義 (静岡大学): *Tale of Jonathas* Hoccleve による *Gesta Romanorum* の利用
司会 奥田宏子 (神奈川大学)
10. 寺澤 盾 (一橋大学): 'Prosaic' *Here-toga* vs. 'Poetic' *Folc-toga*
司会 山内一芳 (東京都立大学)
11. Yoshihiro Yoshino (Rikkyo University): A Few Neglected Aspects of Referential Relation in Old English Poetry
Chair Kazuyoshi Yamanouchi (Tokyo Metropolitan University)
12. 宮崎忠克 (横浜市立大学): OE *Exodus* 202: "weredon wælnet"
司会 佐藤修二 (中央大学)
13. 松本明子 (いわき明星大学): Chaucerian English における Composite Predicates について
司会 真鍋和瑞 (九州大学)
14. 渡辺秀樹 (大阪大学): 古英語の動詞 *standan* について
司会 真鍋和瑞 (九州大学)
15. 丹羽義信 (中部大学): 古英語動詞接頭辞 *in-* について
司会 岸田隆之 (学習院大学)
16. 鎌田幸雄 (東北学院大学大学院博士課程): *Cursor Mundi* における脚韻句
司会 水鳥喜喬 (関西外国語大学)
17. 柳 さよ (福岡大学): *Ancrene Riwe* (Cleopatra MS) のフランス借入語と綴り字について
司会 水鳥喜喬 (関西外国語大学)
18. 高橋 久 (広島大学): *Havelok* MS と異形
司会 中尾祐治 (名古屋大学)

シンポジウム

1. 英語の存在文一序
司会・講師 松浪 有 (青山学院大学)
講師 秦 宏一 (東京都立大学)
講師 杉山隆一 (福岡女子大学)
2. Medievalism in England and Germany in the 18th and 19th Century
Chair Toshiyuki Takamiya (Keio University)
Panelist Michael Watson (Meiji Gakuin University)
Panelist J. B. Gordon (Tokyo University of Foreign Studies)
Panelist Yuri Fuwa (Keio University)
3. 『カンタベリー物語』の女性たち その声なき声
司会・講師 齋藤朋子 (甲南大学)
講師 福井洋子 (大谷女子短期大学)
講師 浜口恵子 (徳島文理大学)
講師 野地 薫 (山村女子短期大学)

第6回全国大会（1990年12月1 - 2日、大手前女子大学）

研究発表

1. 伊藤了子（大手前女子短期大学）：『聖ブランダンの航海』における接続法の用法
司会 寺澤芳雄（東京女子大学）
2. 大高順雄（大阪大学）：『イギリス大憲章』の古フランス語テキスト
司会 寺澤芳雄（東京女子大学）
3. 松瀬憲司（熊本大学）：チョーサーの散文の使役構文における不定詞標識について
司会 菅野正彦（愛知教育大学）
4. 田尻雅士（大阪外国語大学）：ME 尾韻ロマンス群における口承定型主語『浜辺に立つ英雄』について
司会 高橋 久（広島大学）
5. 三浦常司（兵庫教育大学）：中英語ロマンスにおける前置詞の語順
司会 高橋 久（広島大学）
6. 安藤宜裕（恵泉女学園短期大学）：永祿年間におけるキリスト教演劇の受容
司会 奥田宏子（神奈川大学）
7. 土肥由美（ポーfum大学大学院博士課程）：John Heywood の *The Four P.P.* : 『ヘンリー八世の宮廷での上演』に関わる問題
司会 藤井健夫（関西外国語大学）
8. 宮川朝子（羽衣学園短期大学）：*Horestes* の復讐をめぐって
司会 藤井健夫（関西外国語大学）
9. 遠山菊夫（戸板女子短期大学）：古英詩における「語りの技巧」としての現在時制についての考察
司会 苅部恒徳（新潟大学）
10. Haruko Momma (University of Toronto, Ph. D. student) : Hypermetric Verse: A New Interpretation
Chair Tsunenori Karibe (Niigata University)
11. 佐藤明子（青山学院大学大学院）：*The West Saxon Gospels* の翻訳者たち
司会 宮崎忠克（横浜市立大学）
12. 秦 宏一（東京都立大学）：古英語 *Hit wæs geworden* の成立について
司会 宮崎忠克（横浜市立大学）
13. John Scahill (Seikei University) : Early Middle English Literature: Knowns and Unknowns
Chair Michael G. Watson (Meijigakuin University)
14. 若林達司（正則高校非常勤講師）：Carpenter, Nicholas, Absolon : 三人の男性と *Miller's Tale* における笑いについて
司会 繁尾 久（明治学院大学）
15. 海老久人（関西医科大学）：チョーサーとアリストテレス 『詩学』 The Tragedy of Troilus from “Res Publica” to “Res Privata”
司会 繁尾 久（明治学院大学）
16. 岡 三郎（青山学院大学）：*Fabliaux*, Boccaccio ならびに La Fontaine との

‘Comparative Narratology’による *The Reeve’s Tale* における Chaucer の変換
司会 繁尾 久 (明治学院大学)

シンポジウム

1. 英語従属節の語順
司会・講師 藤原 博 (学習院大学)
講師 金山 崇 (大阪外国語大学)
講師 秋元実治 (青山学院大学)
講師 中村幸一 (東京大学大学院博士課程)
2. 13~14世紀英国の社会と文学
司会・講師 須藤 淳 (神戸市外国語大学)
講師 奥田陽子 (日本学術振興会特別研究員)
講師 齋藤朋子 (甲南大学)
3. 中世英語英文学研究における情報の発信と受信
司会・講師 大泉昭夫 (同志社大学)
講師 高宮利行 (慶應義塾大学)
講師 池上忠弘 (成城大学)
講師 久保内端郎 (東京大学)

第7回全国大会 (1991年11月30 - 12月1日、広島修道大学)

- 会長講演 繁尾 久 (徳島文理大学): 中世英文学における夢と現実
司会 小野 茂 (東京都立大学)

研究発表

1. 河崎政俊 (駒沢大学): Chaucer の Garden “topos” について
司会 齋藤 勇 (同志社大学)
2. 松井倫子 (立教大学): *Troilus and Criseyde*, BK I, ll. 57-308 における Criseyde の描写
司会 齋藤 勇 (同志社大学)
3. 関本榮一 (鶴見大学): William Dunbar と James IV をめぐって
司会 齋藤 勇 (同志社大学)
4. 和田葉子 (関西大学): 古英語・中英語写本の間に見られるルネサンス期における所有者と使用法の相違について
司会 高橋 久 (広島大学)
5. 佐藤修二 (中央大学): *The Parker Chronicle*
司会 高橋 久 (広島大学)
6. 下笠徳次 (山口女子大学): *Ywain and Gawain* における脚韻語について
司会 高橋 久 (広島大学)
7. 尾崎久雄 (関西外国語大学・大学院生): 古英語韻文における同族目的語構文について
司会 吉野利弘 (立教大学)
8. 内桶真二 (青山学院大学・大学院生): *Paston Letters* における have + done + pp. 完了形の異分子

- 司会 吉野利弘 (立教大学)
9. 佐藤 勝 (日本大学): It ... to V 構文の史的研究
司会 吉野利弘 (立教大学)
10. 出本文信 (海上保安大学校): ME 期のいくつかの作品における「七大罪源」
の扱い方 主としてカタログ表現として
司会 須藤 淳 (神戸外国語大学)
11. 内田武彦 (愛知大学): 中世イングランドの Mystics の個性について
司会 須藤 淳 (神戸外国語大学)

シンポジウム

1. 14 - 15 世紀英文学の語彙
司会・講師 菅野正彦 (愛知教育大学)
講師 鈴木榮一 (東北学院大学)
講師 原田東雄 (広島修道大学)
講師 中尾祐治 (名古屋大学)
講師 小黒昌一 (早稲田大学)
2. Lancelot 像の変容 Malory から Medievalism へ
司会・総論 高宮利行 (慶応義塾大学)
講師 小野 茂 (昭和女子大学)
講師 向井 毅 (鳴門教育大学)
講師 山口恵理子 (昭和女子大学・大学院生)
講師 不破有里 (慶応義塾大学)
3. 英語の語形成の歴史
司会・講師 丹羽義信 (中部大学)
講師 小倉美知子 (千葉大学)
講師 地村彰之 (三重大学)
講師 渋谷 了 (名城大学)

第 8 回全国大会 (1992 年 12 月 5 - 6 日、青山学院大学)

研究発表

1. 中山 徹 (北海道大学・大学院生): 後期古英語散文に見られる分詞句の
型
司会 宮崎忠克 (横浜市立大学)
2. 岸田隆之 (学習院大学): 初期中英語における三人称代名詞の対与格隔合
について
司会 田島松二 (九州大学)
3. 伊藤忠夫 (中京大学): Instead of と中世英語
司会 田島松二 (九州大学)
4. 砂澤健治 (仙台白百合短期大学): 中英語期における *rerde*, *steven* と *voice*
の競合
司会 須藤 淳 (神戸外国語大学)
5. 中尾佳行 (山口大学): Chaucer の *Troilus and Criseyde* による統語的曖昧性
司会 須藤 淳 (神戸外国語大学)

- 6 . 真鍋和瑞 (九州大学): *Paston Letters* における主語機能の不定詞
司会 小野 茂 (昭和女子大学)
- 7 . 池上 昌 (慶応義塾大学): *Late ME の Final -e: Popular Verse の場合*
司会 丹羽義信 (中部大学)
- 8 . 辻 康哲 (明治学院大学): ‘Middelertne’に見えたもの *Piers Plowman B*
第三の夢の視覚について
司会 齋藤朋子 (甲南大学)
- 9 . 田口まゆみ (大阪産業大学): 『清纯』 詩の構造と主題の展開
司会 松井倫子 (立教大学)
- 10 . 春田節子 (日本女子大学): *Sir Gawain と女たち*
司会 高宮利行 (慶応義塾大学)
- 11 . 齋藤 勇 (同志社大学): *The Prioress's Tale* における“greyn”
司会 都留久夫 (川村学園女子大学)

シンポジウム

- 1 . The Integrated Approach to Manuscript Studies: A New Horizon
Chair and Panelist Shuji Sato (Chuo University)
Panelist Tadao Kubouchi (Tokyo University)
Panelist Timothy C. Graham (the Research Group on
Manuscript Evidence)
Panelist Nicholas Hadgraft (Cambridge Colleges Conservation
Consortium)
Panelist Leslie J. French (Olivetti Research Ltd., Cambridge)
Panelist Mildred O. Budny (Co-Director, the Research Group on
Manuscript Evidence)
- 2 . 美德劇における中世的伝統と展開
司会 米村泰明 (川口短期大学)
講師 松田隆実 (慶應義塾大学)
講師 中道嘉彦 (麗澤大学)
講師 中村哲子 (日本医科大学)
講師 奥田宏子 (神奈川大学)
- 3 . 最近の語源研究から
司会 渡辺昇一 (上智大学)
講師 下宮忠雄 (学習院大学)
講師 長瀬浩平 (桐朋学園大学)
講師 織田哲司 (上智大学・大学院生)
講師 衛藤安治 (福島大学)
- 4 . 中世的‘Venus’の変貌 マクロの展望とミクロの検討
司会・講師 岡 三郎 (青山学院大学)
講師 沓掛良彦 (東京外国語大学)
講師 高田康成 (東京大学)

会長講演 小野 茂 (昭和女子大学): Was eadig mon (Beowulf 2470b) 'Wealthy' or 'Blessed'?

司会 岡 三郎

研究発表

1. 佐藤 勝 (日本大学): 英語における「不定詞付き対格」構文の発達について

司会 宮崎忠克 (横浜市立大学)

2. 小川 浩 (東京大学): 古英語散文における þa Ælfric と Blickling Homilies

司会 宮崎忠克 (横浜市立大学)

3. 秦 宏一 (東京都立大学): 「分割文」の古英語起源について

司会 松浪 有 (徳島文理大学)

4. 横山茂樹 (京都産業大学): 「サー・ガウェインと緑の騎士」における "smile" について

司会 池上恵子 (成城大学短期大学部)

5. 向井 毅 (鳴門教育大学): *The Parliament of Fowls* の初期印刷本について

司会 池上恵子 (成城大学短期大学部)

6. 柴田良孝 (東北学院大学): *The Tournament of Tottenham* 一考

司会 岡富美子 (青山学院大学)

7. 久木田直江 (札幌聖心女子学院): 聖母マリア 穀物女神の継承者として

司会 齋藤 勇 (同志社大学)

8. 隈元貞広 (熊本大学): 「薔薇物語」Fragment-A における人物描写の語彙フランス語原典との比較を中心に

司会 岩崎春雄 (慶應義塾大学)

9. 石井美樹子 (神奈川大学): イギリス中世劇と十五、六世紀のフランドル絵画 スプーンをめぐる

司会 安東伸介 (慶應義塾大学)

10. 家入葉子 (九州大学大学院): ME における否定縮約形

司会 久保内端郎 (東京大学)

11. 鎌田幸雄 (仙台大学): ME 頭韻詩における定型句: *The Destruction of Troy* に生起する定型句を中心に

司会 久保内端郎 (東京大学)

12. 小原 平 (東京慈恵医科大学): *Paston Letters* における綴り字研究 John II と John III を中心にした SLP と WLP の特徴分析

司会 小黒昌一 (早稲田大学)

13. 小倉美恵子 (鶴見大学): イングランドにおける ME \bar{i} , \bar{u} の発達 Labov 1992 に答えて

司会 小黒昌一 (早稲田大学)

14. 若林達司 (明治学院大学大学院): Heroes in *The Legend of Good Women*

司会 海老久人 (関西医科大学)

15. 浜口恵子 (土佐女子短期大学): Dorigen 弁護: *The Franklin's Tale*

司会 海老久人 (関西医科大学)

16. Keiko Shimonomoto (慶應義塾大学): The Choice of *Ye* and *Thou* in Different Manuscripts and the Understanding of Interpersonal Relationships in Chaucer's *Troilus and Criseyde*

司会 松井倫子（立教大学）

17. William Snell (Keio University): Chaucer's *Pardoner's Tale* and Pestilence in Late Medieval Literature

司会 松井倫子（立教大学）

シンポジウム

1. 古、中英語における句動詞および関連構文の2、3の問題

司会 丹羽義信（中部大学）

講師 鈴木重樹（名古屋学院大学）

講師 田辺春美（成蹊大学）

講師 松本博之（豊田工業大学）

2. 中世世界の断面

司会・講師 小田卓爾（慶応義塾大学）

講師 辺見葉子（北里大学）

講師 小路邦子（明治学院大学）

講師 白井菜穂子（文化女子大学）

3. 中世ロマンスの言語における ambiguity の諸相

司会・講師 中尾佳行（山口大学）

講師 伊藤忠夫（中京大学）

講師 Gregory Jember (Saga University)

講師 Koji Yoshimura (Kansai Gaidai College)

第10回全国大会（1994年12月3 - 4日、関西外国語大学）

研究発表

1. 伊藤 晝（慶応義塾大学大学院）: *Beowulf* の地・海・空 perspective locomotion を表わす前置詞句

司会 秦 宏一（東京都立大学）

2. 宅間雅哉（山梨英和短期大学）: 空間に関する古英語前置詞の意味関係

司会 井出 光（東京都立大学）

3. 岡崎久美子（大妻中学高等学校）: 古英語散文の語順について 動詞による分析

司会 秋元実治（青山学院大学）

4. 尾崎久男（関西外国語大学）: 古英語の同族目的語構文に及ぼす頭韻の影響 エルフリックの説教作品を中心に

司会 山内一芳（東京都立大学）

5. 西納春男（同志社大学）: 中世英語英文学研究と学術コンピュータ・ネットワーク

司会 今井光規（大阪大学）

6. 和田葉子（関西大学）: ラテン語が読めなかった男達 中世英国における英語の本の意義

司会 佐藤修二（中央大学）

7. Yasuyo Moriya（国際基督教大学）: The Metrical Peculiarities of *Pearl* in Contrast to Other Poems of the "Pearl Poet"

- 司会 春田節子 (日本女子大学)
8. 西村秀夫 (神戸大学): Chaucer の強意副詞再考
司会 丹羽義信 (中部大学)
9. 藤原保明 (筑波大学): 古英語の凍結等位表現
司会 松浪 有 (徳島文理大学)
10. 岸田隆之 (学習院大学): 初期中英語における *Hie* の消滅と *Hine* の残存について
司会 柳 さよ (福岡大学)

シンポジウム

1. 学会創立 10 周年記念シンポジウム: 中世研究の方法論 今後の課題
司会・講師 岡 三郎 (青山学院大学): 'Philological Circle' をめざして
講師 石井美樹子 (神奈川大学): 中世文学と文化
講師 高宮利行 (慶應義塾大学): 原点資料を用いる
写本から CD-ROM へ
講師 田島松二 (九州大学): テキスト理解と言語研究
講師 齋藤 勇 (同志社大学): 行間を読む楽しさ
中世文学へのひとつのアプローチ
2. 演劇とその上演の「場」の変容: 中世英国とイベリア半島
司会・講師 藤井健夫 (関西外国語大学)
講師 宮川朝子 (羽衣学園短期大学)
講師 米村康明 (川口短期大学)
講師 田尻陽一 (龍谷大学)

第 11 回全国大会 (1995 年 12 月 2 日・3 日、東京都立大学)

研究発表

1. Koji Yoshimura (Kansai Gaidai College) : English Color Expressions in the 13th Century
司会 土屋唯之 (東京理科大学)
2. 伊藤 盡 (慶應義塾大学): Beowulf の中における、人、国、自然: 語彙研究と解釈
司会 小倉美知子 (千葉大学)
3. Haruko Momma (New York University) : The *Beowulf* Poet, Our Hero(?): Anglo-Saxonists and the Dating of *Beowulf*
司会 John Scahill (Seikei University)
4. 保坂道雄 (佐野女子短期大学): 助動詞 "DO" の起源について
司会 中尾祐治 (名古屋大学)
5. 寺澤 盾 (東京大学): Alfric 訳における Judith 像 外典「ユディト書」と比較して
司会 吉野利弘 (立教大学)
6. 小路邦子 (明治学院大学): "Hoold thou thy pees": 「商人の話」において跳ね返る言葉、響きあう言葉

- 司会 秋篠憲一（同志社大学）
7. 浅川順子（慶應義塾大学）：歴史、社会、「女子修道院長の話」
司会 奥田宏子（神奈川大学）
8. Richard J. Kelly (Kobe University) : The Dream of the Rood in Anglo-Saxon Art and Literature
司会 Takuji Oda (Keio University)
9. 斎藤朋子（甲南大学）：‘ The Lord and the Servant ’ Julian of Norwich と Langland の場合
司会 池上恵子（成城大学短期大学部）

シンポジウム

1. 中世、または中世研究の死と再生
司会・講師 海老久人（神戸女子大学）
講師 小池寿子（文化女子大学）
- 高田康成（東京大学）
阿部謹也（一橋大学）
2. 古英語語彙研究へのアプローチと研究の視点
司会・講師 秦 宏一（東京都立大学）
講師 西村公正（関西外国語大学短期大学部）
講師 山内一芳（東京都立大学）

第12回全国大会（1996年12月7日・8日、同志社大学）

研究発表

1. 地村彰之（広島大学）： *The Canterbury Tales* のテキスト比較研究
司会 今井光規（大阪大学）
2. 岸田隆之（学習院大学）：初期中英語における格の水平化について
司会 田島松二（九州大学）
3. 谷 明信（武庫川女子大学）：後期中英語における“list, like, please”の人称用法非人称用法の選択要因について
司会 小倉美知子（千葉大学）
4. 笹本長敬（大阪商業大学）：Chaucerにおけるsightについて The Merchant’s, Second Nun’s and Canon’s Yeoman’s Tale をめぐって
司会 都留久夫（川村学園女子大学）
5. 齋藤 勇（同志社大学）： *Ancrene Wisse* における窓 (purl) のイメージ
司会 岡 三郎（青山学院大学）
6. Tomoaki Mizuno (Shinshu University) : The Three Great Sins of Beowulf
司会 忍足欣四郎（白百合女子大学）
7. 田辺まゆみ（大阪産業大学）：MS Pepys 2125, Item 3 について
司会 高宮利行（慶應義塾大学）
8. 和治元義博（千葉大学）：初期道徳劇における時間 「サイクル劇」としての道徳劇
司会 石井美樹子（神奈川大学）

シンポジウム

- 1 . Tauno F. Mustanoja (1960) 再考 A New Middle English Syntax への試み
 司会・講師 大泉昭夫 (同志社大学)
 講師 小倉美知子 (千葉大学)
 講師 児島 修 (東京学芸大学)
 講師 柳 さよ (福岡大学)
- 2 . 民間信仰の伝承と展開 中世と中世復興
 司会・講師 松田隆美 (慶應義塾大学)
 講師 久木田直江 (北海道大学医療技術短期大学部)
 講師 不破有理 (慶應義塾大学)
 講師 辺見葉子 (北里大学)

第13回全国大会 (1997年12月6日・7日、成城大学)

研究発表

- 1 . 前田 満 (山口大学): 分離の与格
 司会 渡辺秀樹 (大阪大学)
- 2 . 尾崎久男 (大阪大学): 古英語の同族目的語構文に及ぼすラテン語の影響
 PPs, Bede, CP を中心に
 司会 吉野利弘 (立教大学)
- 3 . 藤井香子 (東京大学大学院): ウルフスタンの写本テキストから見る統語
 論上の諸問題
 司会 山内一芳 (東京都立大学)
- 4 . 浜田あやの (神奈川大学大学院): 中世錬金術と文学 チョーサーからシ
 エイクスピアヘ
 司会 黒川樟枝 (川村学園女子大学)
- 5 . Yasuyo Moriya (International Christian University): The Location of King
 Arthur's Round Table in ME Alliterative Meter
 司会 William Snell (慶應義塾大学)
- 6 . 不破有理: The Globe Edition of Malory Reconsidered
 司会 William Snell (慶應義塾大学)
- 7 . 壬生正博 (福井工業高等専門学校): 霊的世界 (煉獄・地獄・天界) にお
 ける topographical motifs について
 司会 松田隆美 (慶應義塾大学)
- 8 . 土肥由美 (ノルトライン・ヴェストファーレン州立言語研究所): 『最後の
 晩餐』: 福音書からサイクル劇まで
 司会 松田隆美 (慶應義塾大学)
- 9 . 石井美樹子 (神奈川大学): 母のイメージで神を語るジュリアン
 司会 岡 三郎 (青山学院大学)
- 10 . 塚本 聡 (日本大学): 中英語における進行形構文の言語的差異
 司会 西村秀夫 (神戸大学)
- 11 . 大門正幸 (中部大学): 古英語はどのくらい動詞第2位言語的であったか
 司会 小倉美知子 (千葉大学)

12. 下笠徳次 (山口県立大学): 尾韻口マンズからのチョーサーの借用表現
司会 三浦常司 (兵庫教育大学)
13. 菊池秋夫 (東北大学大学院): *The Knight's Tale* におけるテセウスの王権
司会 原田東雄 (広島修道大学)
14. 富樫 薫 (駒澤大学大学院): モノログからダイアログへ 『公爵夫人の書』における癒しのテーマ
司会 原田東雄 (広島修道大学)
15. 末松良道 (武蔵野女子大学): 女性の自立した存在と言語を求めて パースの女房におけるチョーサーの戦術
司会 河崎征俊 (駒澤大学)
16. 春田節子 (白百合女子大学): *Wife of Bath* の幻想と現実
司会 河崎征俊 (駒澤大学)

シンポジウム

1. 発信型研究の可能性を求めて 写本を読む
司会・講師 松本博之 (豊田工業大学)
講師 佐藤修二 (中央大学)
講師 小野祥子 (東京女子大学)
講師 田口まゆみ (大阪産業大学)
2. Textual Problems of Malory's *Morte Darthur*
司会・講師 高宮利行 (慶應義塾大学)
講師 Shunichi Noguchi (Osaka University of Education)
講師 Tsuyoshi Mukai (Naruto University of Education)
講師 Yuji Nakao (Nagoya University)
講師 Peter Field (University of Wales at Bangor)

第14回全国大会 (1998年12月5日・6日、山口県立大学)

研究発表

1. 青木繁博 (早稲田大学大学院): *The Book of Margery Kempe* におけるペアワードと “cheer” の意味範疇
司会 田島松二 (九州大学)
2. 園田勝英 (北海道大学): 迂言的 do の発達と 『15世紀パストン家書簡集』
司会 田島松二 (九州大学)
3. 岸田隆之 (学習院大学): *The Peterborough Chronicle* (1070-1154) における格の水平化について
司会 久保内端郎 (東京大学)
4. 遠藤裕昭 (大阪大学大学院): 脚韻が語る中英語の音韻変化 電子コーパスを用いた音韻史研究の実験
司会 池上 昌 (慶應義塾大学)
5. 谷 明信 (武庫川女子大学): サイクルプレーにおける頭韻句について
司会 池上 昌 (慶應義塾大学)
6. 高木眞佐子 (慶應義塾大学大学院): *Le Morte Darthur* の異なるテキスト

Vinaver のステンマ再構築の試み

司会 向井 毅 (鳴門教育大学)

7. Yuzuru Okuyama (Toyama University) : The Language of the Parliament of Fowls Manuscripts

司会 Tsuyoshi Mukai (Naruto University of Education)

8. 小林宜子 (東京大学) : *Confessio Amantis* 第三巻における騎士階級批判

司会 菊池清明 (東京都立大学)

9. ロマンズ・壁画・教会彫刻 『ローマの善女フローレンス』をめぐって

司会 福井秀加 (大手前女子大学)

10. 石野はるみ (大阪国際女子大学) : 永遠の乙女ヴァージニア

司会 奥田宏子 (神奈川大学)

11. 末松良道 (武蔵野女子大学) : “Deerne Love”,あるいは、ニコラスの密かな喜び 『カンタベリー物語』における学僧

司会 奥田宏子 (神奈川大学)

12. 藤木隆偽 (宝塚造形芸術大学) : *Troilus and Criseyde* における「夜」と「夜明け」

司会 齋藤 勇 (同志社大学)

13. 白井菜穂子 (文化女子大学) : 英雄詩と民間伝承における残酷性

司会 石井美樹子 (神奈川大学)

14. 中村哲子 (日本医科大学) : 「グリセルダの話」における patience

司会 石井美樹子 (神奈川大学)

シンポジウム

1. Chaucer における auctoritee と experience

司会・講師 河崎征俊 (駒澤大学)

講師 野町 啓 (茨城県立医療大学)

講師 海老久人 (神戸女子大学)

講師 若林達司 (静岡英和女学院短期大学)

講師 春田節子 (白百合女子大学)

2. 中期英語の多様性

司会・講師 篠田義博 (県立広島女子大学)

講師 John Scahill (Keio University)

講師 家入葉子 (神戸市外国語大学)

講師 鎌田幸雄 (仙台大学)

第 15 回研究発表会 (1999 年 12 月 11 日・12 日、駒澤大学)

研究発表

1. 堀口和久 (東京大学大学院) : 古英語における発話動詞と拡充形 古英語訳 Bede を中心に

司会 秦 宏一 (東京都立大学)

2. 尾崎久男 : 古英語 fremman の機嫌と発達 韻文作品を中心に

司会 秦 宏一 (東京都立大学)

3. 龍美也子(東京大学大学院):古英語期から初期中英語期にかけての gif (if) 節の譲歩の読みの出現について(On the Rise of Concessive Reading of gif (if) ? Clause : From Old English to Early Middle English)

司会 渡辺秀樹(大阪大学)

4. 岡崎久美子(宮城工業高等専門学校):動詞と古英語散文の語順について

司会 渡辺秀樹(大阪大学)

5. 土肥由美(ノルトライン・ヴェストファーレン州立言語研究所):「裏切りの予告」:劇的瞬間のドラマ化 福音書からサイクル劇まで

司会 奥田宏子(神奈川大学)

6. 山口恵里子(筑波大学):“ The Segys of the Rounde Table ”:特権としての座の発生(“ The Segys of Rounde Table ”: the Birth of the Privileged Seat)

司会 奥田宏子(神奈川大学)

7. 三原 穂(慶應義塾大学大学院):口承文学の復興 Percy's Reliques における修正問題について

司会 横山茂樹(京都産業大学)

8. 千葉礼子(国際医療福祉大学):The ‘Katherine Group’(MS Bodley 34)における不定詞

司会 柳 さよ(福岡大学)

9. 井上乃梨子(京都大学大学院):*Cleanness* と *Sir Gawain and the Green Knight* の韻律に見られる共通点と連続性

司会 松井倫子(立教大学)

シンポジウム

1. 中世文化のラテン的基底を巡って

司会・講師 高田康成(東京大学)

講師 小林宜子(東京大学)

講師 松田隆美(慶應義塾大学)

2. コンピュータ時代の英語史研究 動詞の場合

司会・講師 町田尚子(駒澤大学)

講師 桧山 晋(駒澤大学)

講師 内桶真二(茨城女子短期大学)

講師 田辺春美(成蹊大学)

講師 畝部典子(東京家政学院大学)

第16回全国大会(2000年12月9-10日、関西大学)

研究発表

1. 鈴木誠一(関西外国語大学):アンドレイブラクテアトのサクソン起源説をめぐって

めぐって - 言語学とルーン学の立場から

司会 秦 宏一(東京都立大学)

2. 前田 満(山口大学):古英語の接続法と主観性

司会 秦 宏一(東京都立大学)

3. 堀田隆一 (東京大学大学院): 初期中英語における *ʔs* 複数拡張の起源と
発達
司会 米倉 綽 (京都府立大学)
4. 吉川史子 (大阪大学大学院): 迂言的与格とウィクリフ訳聖書
司会 米倉 綽 (京都府立大学)
5. 佐藤桐子 (東京大学大学院): 古英語 *Boethius* における手段を表わすため
の格
形と前置詞 *mid* - 散文版と韻文版の比較
司会 小倉美知子 (千葉大学)
6. 小塚良孝 (大阪大学大学院): *West Saxon Gospels* におけるヨハネ伝の特異
性 - Authorship 再考
司会 小川 浩 (東京大学)
7. 佐藤 勝 (日本大学): 古英語聖書四福音書の二つの校訂本 (*Liuzza* 版と
Bright 版) の比較 - 史的統語論研究者の立場より
司会 小川 浩 (東京大学)
8. 丹羽靖子 (大阪市立大学非常勤講師): 「負」の性格たち - 『ベーオウルフ』
における「闇」の世界
司会 苅部恒徳 (新潟大学)
9. 花嶋由美 (慶應義塾大学大学院): 支援の輪 - 古英語学者エルストブ兄妹
と 18
世紀の予約購読者達
司会 苅部恒徳 (新潟大学)
10. 下田尾誠 (新島学園女子短期大学): *The Clerk's Tales* の *Lenvoy de Chaucer*
をめぐって
司会 笹本長敬 (大阪商業大学)

シンポジウム

1. 中世におけるイギリスとアイルランド
司会 和田葉子 (関西大学)
講師 有光秀行 (東北大学)、松村賢一 (中央大学)、和田葉子 (関西大
学)、David Dumville (University of Cambridge)
2. 古英語同意語辞典の研究への活用
司会 渡辺秀樹 (大阪大学)
講師 渡辺秀樹 (大阪大学)、西村公正 (関西外国語大学短期大学部)、
浦田和幸 (東京外国語大学)、寺澤 盾 (東京大学)、谷 明信 (兵
庫教育大学)

第 17 回全国大会 (2001 年 12 月 8 - 9 日、慶應義塾大学)

会長講演

- 小川 浩: *Napier XL* と *Napier LVIII* - 二つの “pseudo-Wulfstan” homilies とそ
の古英語散文史における位置
司会 小倉美知子 (千葉大学)

研究発表

1. 小倉美加 (日本大学非常勤講師): アーサー王物語における気絶の表現について

司会 菊地清明 (東京都立大学)

2. 赤堀志子 (昭和女子大学): *The Canterbury Tales* の *sweete* の意味 - 味覚からセクシュアリティまで

司会 中尾佳行 (広島大学)

3. 河崎征俊 (駒沢大学): “A shadow upon the wal”: *The Shipman's Tale* における “thyng(s)”

司会 池上忠弘 (成城大学)

4. 菅野正彦 (愛知学泉大学): Gower の *Confessio Amantis* における古語

司会 岩崎春雄 (杏林大学)

5. 鈴木敬了 (奥羽大学): *Beowulf* における法助動詞と非定形動詞の語順について

司会 大門正幸 (中部大学)

6. 柳 さよ (福岡大学): 古英語・初期中英語における不変化詞の反復

司会 久保内端朗 (帝京大学)

7. 守屋靖代 (国際基督教大学): 中英語頭韻詩における頭韻と自然のリズムとの拮抗

司会 吉野利弘 (立教大学)

8. 近藤未奈 (大阪外国語大学大学院): *Sir Gawain and the Green Knight* の版本をめぐる諸問題についての一考察 - 版本発達史に見られる影響関係の観点から

司会 横山茂樹 (京都産業大学)

9. 加藤誉子 (ウェールズ大学バンガー校大学院): CAXTON 工房における印刷工程 - 再版本の一考察

司会 中尾祐治 (中部大学)

10. 田口まゆみ (大阪産業大学): 中世末期英語写本文献のいくつかの特性について: MS Pepys 2125 と MS Hopton Hall を中心に

司会 和田葉子 (関西大学)

11. 塚本 聡 (日本大学): 統語情報とテキスト分類 - The Brooklyn-Geneva-Amsterdam-Helsinki Parsed Corpus of Old English を用いて

司会 西村秀夫 (山口大学)

12. Mieko Ogura (Tsurumi University): Perceptual Factors and Word Order Change in English

司会 宮崎忠克 (横浜市立大学)

13. 小野祥子 (東京女子大学): *Ancrene Wisse* 写本における語彙交替についての一考察

司会 池上恵子 (成城大学短期大学部)

シンポジウム

1. 人文科学資料のデジタル化と HUMI プロジェクト

司会 高宮利行 (慶應義塾大学)

講師 Andrew Armour (Keio University), 高宮利行 (慶應義塾大学), 富

岡麻里（慶應義塾大学大学院文学研究科図書館・情報学科博士課程）

2. 中世英文学におけるジェンダー

司会 濱口恵子（土佐女子短期大学）

講師 濱口恵子（土佐女子短期大学）、野地 薫（山村女子短期大学）、海老久人（神戸女子大学）、春田節子（白百合女子大学）、浅川順子（慶應義塾大学）

第 18 回全国大会（2002 年 12 月 7 - 8 日、広島大学）

研究発表

1. 下笠徳次（山口県立大学）：尾韻ロマンスに見られる定形表現

司会 向井 毅（鳴門教育大学）

2. 上利 学（広島文教女子大学）：Malory における Appeyche の意味について

司会 向井 毅（鳴門教育大学）

3. 岡田優子（昭和女子大学非常勤講師）：Chaucer における fresh の用法

司会 菊地清明（東京都立大学）

4. 篠田義博（県立広島女子大学）：Cursor Mundi に於ける語の混淆

司会 菊地清明（東京都立大学）

5. 辻 康哲（奥羽大学）：Piers Plowman のドゥリーマーについて - 歴史の中の語り手と Langland

司会 海老久人（神戸女子大学）

6. 豊島美和（東京大学大学院）：『ピーターバラ年代記』における二重目的語構文 - 写本の解釈をめぐって

司会 池上恵子（成城大学短期大学部）

7. 秦 宏一（東京都立大学）：古英語代名詞体系の再検討と新解釈の試み

司会 池上恵子（成城大学短期大学部）

シンポジウム

1. 頭韻詩再考

司会 小倉美知子（千葉大学）

講師 藤原保明（筑波大学）、小倉美知子（千葉大学）、尾崎久男（大阪大学）、水野知昭（信州大学）

2. ヨーロッパ中世文化の多元性 - 特にイギリスとの関連において

司会 地村彰之（広島大学）

講師 山代宏道（広島大学）、大野英志（倉敷芸術科学大学）、四反田想（広島大学）、水田英実（広島大学）、原野 昇（広島大学）

第 19 回全国大会（2003 年 12 月 13 - 14 日、東京外国語大学）

会長講演 今井光規：中世英国韻文ロマンスにおける反復について

司会 春田節子（白百合女子大学）

研究発表

1. 市川 誠 (青山学院大学大学院): 散文版 *Paris Psalter* における法助動詞について
司会 小川 浩 (東京大学)
2. 山村誠治 (大阪産業大学非常勤講師): 古英語における代名詞と動詞の語順 - アルフレッド期の散文作品を中心に
司会 小川 浩 (東京大学)
3. 谷 明信 (兵庫教育大学): チョーサー散文作品におけるワードペア使用の違いについて
司会 児馬 修 (東京学芸大学)
4. 平山直樹 (広島大学大学院): 『パストン家書簡集』における Epistemic Adverbs
司会 児馬 修 (東京学芸大学)
5. 古田直肇 (東京大学大学院): *Beowulf* に登場する盗人について
司会 忍足欣四郎 (東京都立大学名誉教授)
6. 唐澤一友 (横浜市立大学): Hrothgar's Sermon 再考
司会 忍足欣四郎 (東京都立大学名誉教授)
7. 渡辺秀樹 (大阪大学): 古英詩現代英語訳に見られる古語・擬古体
司会 忍足欣四郎 (東京都立大学名誉教授)
8. 多々谷有子 (関東学院大学): *Sir Gawain and the Green Knight* における新年の遊びの構造とその意味
司会 松井倫子 (立教大学)
9. 田尻雅士 (大阪外国語大学): 中英語ロマンスにおける反ロード主義? - 『ローマの善女フローレンス』とその写本をめぐって
司会 松田隆美 (慶応義塾大学)

シンポジウム

1. 中世を作る - 中英語ロマンスの場合 (Making the Middle Ages - the Case of Middle English Romances)
司会 高宮利行 (慶應義塾大学)
講師 高橋 勇 (慶應義塾大学大学院博士課程)、横山茂樹 (京都産業大学)、高宮利行 (慶應義塾大学)、伊藤 盡 (杏林大学)
2. Twenty Years from Burnley 's Guide: Studies on Chaucer 's Language
司会 Michiko Ogura (Chiba University)
講師 Young-Bae Park (Kookmin University)、Kisei Sakemi (Hiroshima Institute of Technology)、Michiko Ogura (Chiba University)、Yoshiyuki Nakao (Hiroshima University)

第 20 回全国大会 (2004 年 12 月 11 - 12 日、武庫川女子大学)

研究発表

1. 豊島美和 (東京大学大学院): 「妨げる」を意味する動詞の構文の発達 - lettan を中心に

- 司会 家入葉子 (京都大学)
- 2 . 大津智彦(大阪外国語大学): 初期中英語における間接話法と接続詞 *tat* の有無について - 従属節が (*gif*) 節を伴う場合
司会 小川 浩 (昭和女子大学)
- 3 . 佐藤 勝 (日本大学): 主語機能の不定詞・節の通時的ー研究
司会 西村公正 (関西外国語大学短期大学部)
- 4 . 浅香佳子 (大阪国際大学): もう一つの「自然」の意味 - *Piers Plowman Tradition*
司会 松下知紀 (専修大学)
- 5 . Dylan Jones (Ohu University): *Jokers in the Packs: Reading Chaucer's Ugolino and Philomela Stories Ironically not Iconically*
司会 高田康成 (東京大学)
- 6 . 河崎征俊 (駒澤大学): “*temptus*” と “*aeternitas*”: *The Knight's Tale* における Chaucer の「時」の意識
司会 高田康成 (東京大学)
- 7 . 藤井香子 (大阪学院大学): 写本テキストに見る句読法と統語論 - ウルフスタンのラテン語及び古英語説教散文において
司会 池上恵子 (成城大学短期大学部)
- 8 . 守屋靖代 (国際基督教大学): *Sir Gawain and the Green Knight* における従属節と付加節 - 定形表現としての使われ方
司会 田島松二 (九州大学)
- 9 . Mayumi Taguchi(Osaka Sangyo University): *Vernacular Translations of the Bible in Fifteenth-Century England: the Case of a Middle English 'History of Genesis' (St John's College, Cambridge, MS G.31)*
司会 米倉 綽 (京都府立大学)
- 10 . Satoko Tokunaga (JSPS Research Fellow/ Graduate School, Keio University): *De Worde's Use of Multiple Sources for the 1498 Edition of the Canterbury Tales*
司会 向井 毅 (福岡女子大学)

シンポジウム

- 1 . Monumental Modern Medievalists: A Symposium
司会 William Snell (Keio University)
講師 Richard Kelly (Kobe University), John Scahill (Keio University), William Snell (Keio University), Valerie Anne Wilkinson (Shizuoka University)

特別講演

- Young Bae-Park (Kookmin University): *Fifty Years of Medieval English Studies in Korea - Retrospect and Prospect*
司会 中尾祐治 (中部大学)
- Lee W. Patterson (Yale University): *The Necessity of History: Reading Chaucer's Clerk's Tale*
司会 小林宜子 (東京大学)
- Jeremy J. Smith(University of Glasgow): *Language, Class and Region in Late Medieval*

England
司会 小倉美知子 (千葉大学)

第 21 回全国大会 (2005 年 12 月 3-4 日、筑波大学)

会長講演 久保内端郎 : *Ancrene Wisse* の「近代性」と「擬古性」: 再訪

司会 高宮利行 (慶應義塾大学)

研究発表

1. 小倉美知子 (千葉大学) : *Nis* か *Ne is* か — 古英語における選択の基準
司会 家入葉子 (京都大学)
2. 唐澤一友 (横浜市立大学) : 古英詩 *Menologium* の構造と性質について
司会 渡辺秀樹 (大阪大学)
3. David Hathaway (慶應義塾大学大学院) : *King Knut and the English Church: Anglo-Scandinavian Ecclesiastical Links as a Channel for Literary Contacts*
司会 水野知昭 (信州大学)
4. 小宮真樹子 (同志社大学大学院) : 円卓の変遷 — 聖杯のテーブルと危険な席
司会 池上忠弘 (成城大学名誉教授)
5. 浅川順子 (慶應義塾大学) : *The Knight's Tale* における惑星
司会 河崎征俊 (駒澤大学)
6. 小林宜子 (東京大学) : 祖国喪失者の声 — ガウアーのラテン語詩とオウィディウス
晩年の悲歌をめぐる考察
司会 菅野正彦 (愛知学泉大学)
7. 狩野晃一 (駒澤大学) : 後期中英語期 Norfolk 方言における OE (ON) *y, ý* の分布
司会 池上 昌 (慶應義塾大学名誉教授)
8. 三浦あゆみ (東京大学大学院) : Chaucer の作品における非人称動詞 *listen*
司会 西村秀夫 (姫路獨協大学)
9. 藤原保明 (筑波大学) : 中英語の不定代名詞再考
司会 西村公正 (関西外国語大学短期大学部)
10. 谷 明信 (兵庫教育大学) : *The History of Reynard the Fox* におけるワードペア使用
司会 下笠徳次 (山口県立大学)
11. 砂澤健治 (仙台白百合女子大学) : Late ME における "neck" の同義語について
司会 浦田和幸 (東京外国語大学)
12. 原島貴子 (慶應義塾大学大学院) : チューダー朝初期知識人の歴史意識 — スティーブ
ーブン・ホーズ、ジョン・ラステルを中心に
司会 石井美樹子 (神奈川大学)

シンポジウム

1. 中世とルネサンスを生きるチューダー朝演劇

司会・序論・講師 石井美樹子（神奈川大学）

講師 末松良道（武蔵野大学）

講師 宮川朝子（大手前大学非常勤講師）

講師 米村泰明（埼玉学園大学）

2. チョーサーとその周辺 —写本アンソロジーから *Sammelbände*

司会・序論・講師 徳永聡子（日本学術振興会特別研究員、慶應義塾大学）

講師 松田隆美（慶應義塾大学）

講師 徳永聡子（日本学術振興会特別研究員、慶應義塾大学）

講師 向井 毅（福岡女子大学）、

ディスカッサント 高宮利行（慶應義塾大学）

第 22 回全国大会（2006 年 12 月 9—10 日、京都産業大学）

研究発表

1. 原田英子（白百合女子大学大学院）：逃げ去る者たちと留まる者たち—*The Battle of Maldon* における *Byrhtnōð* の英雄性と家臣たちの反応

司会 吉見昭徳（明治学院大学）

2. 伊藤 壺（杏林大学）：モールドンの戦いで、北欧人はアングロ・サクソン人と自分の母語で言葉を交わしたか？

司会 吉見昭徳（明治学院大学）

3. 三木泰弘（青山学院大学）：*Beowulf* における王とその複合語

司会 井出 光（首都大学東京）

4. 寺澤 盾（東京大学）：古英詩における *weak man*

司会 井出 光（首都大学東京）

5. 小山良一（新潟工科大学）：*Electronic Beowulf* の *text* と *glossary* について

司会 網代 敦（大東文化大学）

6. 佐藤桐子（明星大学）：初期古英語散文における「期間」を意味する対格と前置詞形

司会 久保内端郎（駒澤大学・東京大学名誉教授）

7. 片見彰夫（埼玉学園大学）：サー・トマス・マロリー『アーサー王物語』における談話標識

司会 中尾祐治（中部大学）

8. 青木美奈（白百合女子大学大学院）：*Sir Thomas Malory* の作品における地名

司会 不破有理（慶應義塾大学）

9. 本田崇洋(関東学院大学大学院):「調和」にみるチョーサーの世界観—*The Parliament of Fowls* を中心に—
司会 中尾佳行(広島大学)
10. 春田節子(白百合女子大学): *Troilus and Criseyde* における世代とジェンダー:
Pandarus おじさん vs. Criseyde おばさん
司会 中尾佳行(広島大学)
11. 末松良道(武蔵野大学): ‘Now opyn yowr sachell wyth Laten wordys’ — 『マンカインド』とサイクル劇におけるラテン語と法的語彙について—
司会 菊池清明(立教大学)
12. 篠田義博(県立広島大学): *Cursor Mundi* における(*for to* 付き不定詞—特に(*for to* 付き不定詞と先行する名詞との文法関係について—
司会 家入葉子(京都大学)
13. 狩野晃一(駒澤大学): *The ME Physiologus* における脚韻 *vuenest (sic) - gast* (ll. 575-6)
司会 池上 昌(慶應義塾大学名誉教授)
14. 市川 誠(青山学院大学大学院): *Lambeth Psalter* における屈折語尾-*un* について
司会 佐藤修二(中央大学)
15. 堀田隆一(神奈川大学): 初期中英語南部方言における名詞複数形態の分布と発展
司会 小倉美知子(千葉大学)

シンポジウム

1. The Linguistic and Literary Context of the *Ancrene Wisse* Group

- 司会・総論 池上恵子(大東文化大学)
講師 Bella Millett (University of Southampton)
講師 小野祥子(東京女子大学)
講師 田辺春美(成蹊大学)
講師 John Scahill(慶應義塾大学)
コメンテーター 和田葉子(関西大学)

2. *Beowulf* を読み直す

- 司会・総論・講師 忍足欣四郎(都立大学名誉教授)
講師 苅部恒徳(新潟国際情報大学・新潟大学名誉教授)
講師 衛藤安治(福島大学)
講師 渡辺秀樹(大阪大学)

3. 中世後期イングランドにおける危機と変化—文学・宗教・政治

- 司会・総論・講師 松田隆美(慶應義塾大学)
講師 小林宜子(東京大学)
講師 久木田直江(静岡大学)
講師 赤江雄一(日本学術振興会特別研究員)

第 23 回全国大会 (2007 年 12 月 8-9 日、駒澤大学)

会長講演 高宮利行: 海を渡った書物—テューダー朝の大陸本とトマス・克蘭マー旧蔵書

司会 菊池清明 (立教大学)

研究発表

1. 佐藤修一 (中央大学非常勤講師): 古英語テキストにおける *Wyrð* の用法について: *Something weird?*

司会 山内一芳 (青山学院大学)

2. 横田比古乃 (青山学院大学大学院): キリスト教の神か異教の神か? *Beowulf* 1.27 の *'Frean wære'* の解釈をめぐって

司会 渡辺秀樹 (大阪大学)

3. 平林幹郎 (大東文化大学): 中世低地ドイツ語と英語の類似性について

司会 尾崎久男 (大阪大学)

4. 地村彰之 (広島大学): *The Canterbury Tales* の Cambridge University Library MS GG.4.27 について

司会 和田葉子 (関西大学)

5. 小川勝也 (慶應義塾大学大学院)、徳永聡子 (慶應義塾大学)、小澤慎治 (慶應義塾大学名誉教授・愛知工科大学): 初期のキャクストン印刷再考 —『カンタベリー物語』(c. 1476)のデジタル画像解析から—

司会 向井 毅 (福岡女子大学)

6. 貝塚泰幸 (立教大学大学院): *Gawain* 詩人の方言意識

司会 松下知紀 (専修大学)

7. 松崎武志 (立教大学大学院): 中英語頭韻詩における *Repetitive Word Pair* 再考

司会 守屋靖代 (国際基督教大学)

8. 青木繁博 (新潟青陵大学短期大学部): 「定型句」としてのワードペア、「表現技法」としてのワードペア

司会 菊池清明 (立教大学)

9. 小倉美加 (流通経済大学): 「奇跡体験の気絶」に関する一考察

司会 久木田直江 (静岡大学)

10. 海老久人 (神戸女子大学): チョーサーと「新トロイ」

司会 池上忠弘 (成城大学名誉教授)

シンポジウム

1. *Variants* の諸相: 初期英語研究と原典テキスト資料

司会・総論 久保内端郎 (駒澤大学)

講師 市川 誠 (専修大学)

講師 池上恵子 (大東文化大学)

講師 狩野晃一 (駒澤大学)

講師 中尾祐治 (名古屋大学名誉教授)

2. キャクストンの言語と文体

司会・総論・講師 尾崎久男 (大阪大学)

講師 坂東洋子（兵庫県立兵庫高校）

講師 西村公正（元関西外国語大学短期大学部）

講演 Dr. Mary DOVE, University of Sussex : The Making of the Wycliffite Bible

第 24 回全国大会（2008 年 12 月 6—7 日、大阪府立大学）

研究発表

1. 澤田真由美（岩国短期大学）：後期 ME における定形節と不定詞補文—指示動詞を中心に—
司会 家入葉子（京都大学）
2. 岡田 晃（大東文化大学大学院）：後期中英語の法律用語に見られる否定接頭辞について：法官庁英語と *Piers Plowman* の場合
司会 家入葉子（京都大学）
3. 佐藤 勝（日本大学）：後位修飾語句の通時的—研究
司会 小倉美知子（千葉大学）
4. 松本博之（豊田工業大学）：リドゲイトの不揃いな韻律について—特に「many a + 単数名詞」を中心に—
司会 小倉美知子（千葉大学）
5. Dylan Jones（福井大学）：Tit for Tat: Symkyn's Wymmen as Instruments of *Revenge*
司会 海老久人（神戸女子大学）
6. William Snell（慶應義塾大学）：Young Men Behaving Badly or 'What goes around comes around': Why was Chaucer's *Pardoner's Tale* set in Flanders?
司会 海老久人（神戸女子大学）
7. 大沼由布（慶應義塾大学）：ティルベリのゲルウァシウスと中世の驚異
司会 辺見葉子（慶應義塾大学）
8. 岡本広毅（立教大学大学院）：*Sir Gawain and the Green Knight* におけるトロイ、ブリテン島、イングランド、地方のアイデンティティ
司会 田口まゆみ（大阪産業大学）
9. 多ヶ谷有子（関東学院大学）：『サー・ガウェインと緑の騎士』における煉獄めぐりの構造
司会 田口まゆみ（大阪産業大学）
10. 近藤未奈（大阪学院大学他非常勤講師）：中英語頭韻詩 *Sir Gawain and the Green Knight* 校訂本研究—editorial process が登場人物像にもたらす多様性についての—考察—
司会 和田葉子（関西大学）
11. 海田皓介（千葉大学大学院）：古英語 *āgan* の助動詞としての可能性
司会 鈴木敬了（大東文化大学）
12. 龍 美也子（東京外国語大学他非常勤講師）：Ælfric 作品における数量詞の語順
司会 鈴木敬了（大東文化大学）

13. 高木眞佐子 (杏林大学) : *Le Morte Darthur* の「アーサー王と皇帝ルシアスの物語」に見られる「ローマ帝国」と「イングランド」の意識
司会 小路邦子 (慶應義塾大学)

シンポジウム

1. トマス・マロリー研究：日本からの更なる発信
司会・総論 向井 毅 (福岡女子大学)
講師 高宮利行 (慶應義塾大学)
講師 中尾祐治 (名古屋大学名誉教授)
講師 不破有理 (慶應義塾大学)
講師 野口俊一 (大阪教育大学名誉教授)
2. 中期英語の感覚表現の謎に迫る—Chaucer を核にして—
司会・総論・講師 吉村耕治 (関西外国語大学短期大学部)
講師 河崎征俊 (駒澤大学)
講師 中尾佳行 (広島大学)
講師 徳井淑子 (お茶の水女子大学)、
コメンテーター 池上忠弘 (成城大学名誉教授)

第 25 回全国大会 (2009 年 11 月 28—29 日、慶應義塾大学日吉キャンパス)

- 会長講演 中尾佳行 : Chaucer's Language: 'Subjectivisation' and 'Expanding Semantics'
司会 向井 毅 (福岡女子大学)

研究発表

1. 岡本広毅 (立教大学大学院) : イングランド人になるということ—*Havelok the Dane* を中心に
司会 小路邦子 (慶應義塾大学)
2. 松崎武志 (立教大学大学院) : 『カンタベリー物語』における swearing について
司会 砂澤健治 (仙台白百合女子大学)
3. 久木田直江 (静岡大学) : 中世末のイギリスにおけるカルメル会の靈性と平信徒教育についての一考察
司会 松田隆美 (慶應義塾大学)
4. 井口 篤 (放送大学) : Unleashing the Vernacular: The Inclusive Hermeneutics of *The Prickynge of Love*
司会 松田隆美 (慶應義塾大学)
5. 山本伍紀 (慶應義塾大学大学院) : OE における迂言的な法動詞+不定詞構文の意味論的及び統語論的発達について
—Gregory's *Dialogues* のヴァージョン間比較研究を中心に
司会 堀田隆一 (中央大学)
6. 小池剛史 (大東文化大学) : The Development of the Idiomatic Constructions of the Type 'take care of' and the Functional/Syntactic Changes of the Genitive from OE to ME
司会 堀田隆一 (中央大学)

7. 徳永聡子 (慶應義塾大学) : 中世英文学と書物史研究—本邦所在の英国初期刊本調査から
司会 上利 学 (広島文教女子大学)
8. 山田 攻 (埼玉医科大学) : 明治・大正期における Malory の *Le Morte Darthur* 翻訳作品の研究
司会 上利 学 (広島文教女子大学)
9. 戴 琬真 (The University of York) : 'The Fayr and Brizt Beauty': Vision and the Formation of Community in Middle English Romance
司会 William Snell (慶應義塾大学)
10. Valerie A. Wilkinson (静岡大学) : Did Malory Know the *Tristan* of Thomas?
司会 高木眞佐子 (杏林大学)
11. 和治元義博 (北里大学) : 氏名不詳—『堅忍の城』のガルシオとは何者か?
司会 米村泰明 (埼玉学園大学)
12. 唐澤一友 (駒澤大学) : 古英語期末期における詩の伝統の継承と変容— *Menologium* の場合
司会 衛藤安治 (福島大学)
13. 守屋靖代 (国際基督教大学) : Recurring Collocations in Middle English Alliterative Verse: Metrical-Syntactic Patterns of the Second Half-Line
司会 鎌田幸雄 (仙台大学)
14. 小倉美知子 (千葉大学) : *Hap, Happen, Happy* の借入と葛藤
司会 寺澤 盾 (東京大学)

シンポジウム

1. The Medieval English Cosmos: Its Reception, Interpretation, Representation
司会・総論・講師 藤井香子 (大阪学院大学)
講師 Dr Daniel Anlezark (The University of Sydney)
講師 Martin Connolly (鶴見大学)、
講師 Prof Francis K. H. So (Wenzao Ursuline College of Languages)
2. 'Gothic' と現代—Derek Brewer 教授の業績を称えて
司会・総論・講師 高宮利行 (慶應義塾大学名誉教授)
講師 小林宜子 (東京大学)
講師 向井 毅 (福岡女子大学)

第 26 回全国大会 (2010 年 12 月 4-5 日、大阪学院大学)

研究発表

1. Martin Connolly (鶴見大学) : Rediscovering *The Trentals of St Gregory*: Contemporary Reception, *The Awntyrs off Arthure*, and a New Transcription
司会 不破有理 (慶應義塾大学)

2. 田口まゆみ (大阪産業大学)、家入葉子 (京都大学) : Pepys 版『キリストの受難の黙想』の校訂に向けて
司会 米倉 綽 (広島女学院大学)
3. 菅野磨美 (慶應義塾大学大学院) : 中世イングランドにおける女性のディヴォーションナル・リテラシー
司会 濱口恵子 (同志社大学)
4. 小川真理 (慶應義塾大学非常勤講師) : 中世後期のロマンスにおける男女の友情 : ナラティブを支える協力関係—*Floris and Blanchefleur* を中心に
司会 菊池清明 (立教大学)
5. 川端 新 (福岡女子大学大学院) : *The Parliament of Fowls* のテキスト研究—出版史からみる Rastell 版 (1525 年) の意義—
司会 地村彰之 (広島大学)
6. 小竹 直 (日本赤十字看護大学非常勤講師) : 古英語行間訳福音書マタイ伝 26・27 章について—文献学的考察と古英語による『受難』テキストの視点から—
司会 藤井香子 (大阪学院大学)
7. 小倉美知子 (千葉大学) : OE *weald hu* は文法化と呼べるのか
司会 秋元実治 (青山学院大学名誉教授)
8. 米田繭子 (京都大学大学院) : 動詞 *sleep* の形態変化に関する史的考察—散文作品を中心に—
司会 小川 浩 (昭和女子大学)
9. 堀田隆一 (中央大学) : *The Poema Morale, MS M* の言語特徴
司会 池上恵子 (成城大学短期大学部名誉教授)
10. 片見彰夫 (埼玉学園大学) : 中英語における反復表現の修辭的効果
司会 谷 明信 (兵庫教育大学)

シンポジウム

1. アングロ・サクソン イングランドの「文法」と「翻訳」—ラテン語から自国語へ—
司会・総論・講師 山内一芳 (青山学院大学)
講師 唐澤一友 (駒澤大学)
講師 佐藤桐子 (熊本学園大学)
講師 市川 誠 (青山学院大学)
2. 英国年代記と国家意識—15、16 世紀を中心に—
司会・総論・講師 高木眞佐子 (杏林大学)
講師 張替涼子 (東京大学非常勤講師)
講師 井出 新 (慶應義塾大学)
講師 高宮利行 (慶應義塾大学名誉教授)

第 27 回全国大会 (2011 年 12 月 3-4 日、大東文化大学)

会長講演 小倉美知子: Words and Expressions of Emotion in Medieval English

司会 保坂道雄 (日本大学)

研究発表

1. 工藤義信 (慶應義塾大学大学院): チョーサーの「メリベウスの話」と都市民の階級意識
司会 中尾佳行 (広島大学)
2. 和田葉子 (関西大学): 英雄か極悪人か—*Piers of Bermingham* 成立の社会背景について—
司会 中尾佳行 (広島大学)
3. 小野祥子 (東京女子大学)、狩野晃一 (横浜市立大学非常勤講師): 異写本パラレル・テキストを用いた B 言語からの AB 言語検証: 語彙の視点から
司会 谷 明信 (兵庫教育大学)
4. 家入葉子 (京都大学): Pepys 版『キリストの受難の黙想』の言語分析と *A Linguistic Atlas of Late Mediaeval English*
司会 池上恵子
5. 岡田 晃 (大東文化大学大学院): 否定接辞の中英語期から現代英語にかけての歴史的考察—un-と-less を中心に—
司会 米倉 綽 (広島女学院大学)
6. 守屋靖代 (国際基督教大学): 中英語頭韻詩における -ly 副詞の位置と韻律の関係
司会 米倉 綽 (広島女学院大学)
7. 小笠原清香 (立教大学大学院): fast の意味領域の変化—中英語期から初期近代英語期を中心に—
司会 大野英志 (倉敷芸術科学大学)
8. 小倉美加 (流通経済大学非常勤講師): 14 世紀イングランドを中心に森と狂気と気絶の描写についての考察
司会 大野英志 (倉敷芸術科学大学)
9. 米田繭子 (京都大学大学院): 古英語動詞群の強・弱移行—語彙間の意味重複による影響—
司会 堀田隆一
10. 山本伍紀 (杏林大学非常勤講師): 古英語における迂言的な法動詞+不定詞構文の意味論的及び統語論的発達について—古英語訳作品のバージョン間比較研究を中心に—
司会 鈴木敬了 (大東文化大学)
11. 小竹 直 (ロンドン大学・日本学術振興会海外特別研究員): *The Rushworth Gospels* にみられる修正の痕跡についての考察: Farman による古英語行間訳を中心に
司会 山内一芳 (青山学院大学)
12. 井口 篤 (放送大学): *The Wisdom of Commerce?: Enacting Consent in the Fifteenth-Century East Anglian Play Wisdom*
司会 松田隆美 (慶應義塾大学)
13. 末松良道 (ケント大学大学院): *Soldiers, Doctors, Aristocrats*—ミステリー・プレイにおける家来達—
司会 松田隆美 (慶應義塾大学)

14. 都地沙央里（福岡女子大学大学院）：『きつね物語』出版史における二つの Pynson 版（1494, ?1506）の位置づけ

司会 尾崎久男（大阪大学）

15. 和田 忍（神奈川大学）：ゲルマン的異教とはどのような信仰だったのか—古英語版アルフリッチの説教「異教の神々について」とその古アイスランド語翻訳との比較を通じて—

司会 伊藤 盡（信州大学）

16. 浅香佳子（関西大学非常勤講師）：*Piers Plowman* の Middle Earth—北欧神話の *Miðgarðr* の影響の有無をめぐる—

司会 伊藤 盡（信州大学）

特別講演 Prof. Daniel Donoghue (Harvard University) : Reading Old English Poems with Anglo-Saxon Eyes

第 28 回全国大会（2012 年 12 月 1-2 日、広島大学）

研究発表

1. 堀 美里（慶應義塾大学大学院）：*Beowulf* と *Sir Gawain and the Green Knight* における *man* の類義語—*man* が残存した 3 つの理由—

司会 寺澤 盾（東京大学）

2. 上利政彦（佐賀大学名誉教授）：異質性の排除—詩語の継承に関して

司会 寺澤 盾（東京大学）

3. 米倉 綽（広島女学院大学）：『ウィクリフ派英訳聖書』における同義語並列および同義語選択

司会 家入葉子（京都大学）

4. 田口まゆみ（大阪産業大学）：イザベル妃に捧げられた「聖母の 4 つの願い」英語版について（MSS Pepys Library 2125 and CUL, Ff.vi.33）

司会 和田葉子（関西大学）

5. 狩野晃一（駒澤大学非常勤講師）：*Seinte Iulienne* テクスト伝播に関する一考察—写本パラレル・テキスト比較を通して—

司会 和田葉子（関西大学）

6. 高木眞佐子（杏林大学）：キャクストンが使用した英語エグゼンプラー発見の意味—*Prose Brut* 写本と *Chronicles of England* (1480)—

司会 向井 毅（福岡女子大学）

7. 山内一芳（前青山学院大学教授）：ランベス詩編の統語注解とラテン語詩編の訳読

司会 小川 浩（昭和女子大学）

8. 高橋佑宜（京都大学大学院）：古英語における *Wesan*, *Weorþan* 受動構文の分析—アングロサクソン年代記 MSS. A, C, D の用例から—

司会 小川 浩（昭和女子大学）

9. 渡辺拓人（大阪大学大学院）：*Be about to* 構文の起源に関する一考察：*Ancrene Wisse* 各写本の *umbe* と *about* の比較を中心に

司会 秋元実治（青山学院大学名誉教授）

10. 小宮真樹子（同志社大学非常勤講師）：乳兄弟と兄弟愛：*Le Morte Darthur* におけるケイの描写

司会 小路邦子（慶應義塾大学非常勤講師）

11. 平山直樹（尾道市立大学）：『パストン家書簡集』における理由を表す接続詞
司会 小原 平（東京慈恵会医科大学）
12. Dylan Jones（福井大学）：Grist to the Mill: Chaucer's *Reeve's Tale* and its Forgotten Analogue *The Mylner of Abyngton*
司会 笹本長敬（大阪商業大学）

シンポジウム

1. The Mystery of Manuscripts and Early Printed Books
司会 谷 明信（兵庫教育大学）
講師 Graham Caie（グラスゴー大学）
講師 中尾佳行（広島大学）
リスポンデント 高宮利行（慶應義塾大学名誉教授）
2. A Foreign Country in Great Britain: Inventing the Scottish Middle Ages
司会・総論・講師 張替涼子（東京大学非常勤講師）
講師 高宮利行（慶應義塾大学名誉教授）
講師 原田範行（東京女子大学）、
講師 高橋 勇（慶應義塾大学）
リスポンデント Graham Caie（グラスゴー大学）

第 29 回全国大会（2013 年 11 月 30—12 月 1 日、愛知学院大学）

- 会長講演 向井 毅：初期印刷本を眺める
司会 不破有理（慶應義塾大学）

研究発表

1. 趙 泰昊（慶應義塾大学大学院）：ドン・キホーテ的騎士の系譜：ボッカッチョの『フィローコロ』とチョーサーの『トロイルスとクリセイダ』
司会 中尾佳行（広島大学）
2. 大野英志（倉敷芸術科学大学）：The Tale of Melibee における ouen の用法について
司会 中尾佳行（広島大学）
3. 海田皓介（ミュンヘン大学・日本学術振興会海外特別研究員）：後期古英語と初期中英語における *āgan*, **sculan*, **mōtan*：「義務」の法助動詞化過程
司会 秋元実治（青山学院大学名誉教授）
4. 唐澤一友（駒澤大学）：Anglo-Saxon Chronicle の C 写本における *Menologium* および *Maxims II* の役割
司会 池上恵子（成城大学短期大学部名誉教授）
5. 井野崎千代子（大阪産業大学非常勤講師）：Ancrene Wisse 写本における conscience 概念の導入と受容についての語彙検証による一考察
司会 池上恵子（成城大学短期大学部名誉教授）
6. 和田葉子（関西大学）：パロディになった最期と死の中世詩? —London, British Library, MS Harley 913 収録の *Elde* と *Erth* について—
司会 田口まゆみ（大阪産業大学）
7. 高森理絵（大阪大学大学院）：古英詩における *wylm* と *weallan* の表す概念領域について
司会 小倉美知子（慶應義塾大学）

8. 米田繭子（京都大学大学院）：動詞の強・弱変化移行—中英語における接頭辞 *be-* の衰退の影響—
司会 小倉美知子（慶應義塾大学）
9. 和田 忍（中央大学非常勤講師）：アングロ・サクソン期におけるゲルマン的異教信仰の痕跡に関する一考察—グズルムとの協定とクヌートの法律における文書を中心に—
司会 伊藤 盡（信州大学）
10. 井出 光（首都大学東京名誉教授）：古英語散文作品における *factum esse* と *wesan geworden*
司会 山内一芳（前青山学院大学教授）
11. 青木繁博（新潟青陵大学短期大学部）：ワードペアにおける慣用性、定型性、冗長性、反復性について
司会 片見彰夫（青山学院大学）
12. 三浦あゆみ（関西外国語大学）：Reconsidering the Middle English origin of the appositive meaning of *namely*
司会 地村彰之（広島大学）

シンポジウム

1. 善きヴァイキングとの出逢い：英語史・中世イングランド史における北欧人の役割
司会・総論・講師 伊藤 盡（信州大学）
講師 松瀬憲司（熊本大学）
講師 小澤 実（立教大学）
2. 15世紀イングランド文学の革新と継承
司会・総論・講師 松田隆美（慶應義塾大学）
講師 井口 篤（放送大学）
講師 久木田直江（静岡大学）
講師 徳永聡子（慶應義塾大学）

特別講演 Dr Cynthia Allen（Australian National University）：Old English and the Syntactician: Revisited

第30回全国大会（2014年12月6-7日、同志社大学）

研究発表

1. 狩野晃一（東北公益文科大学）：綴り字の分布から発音の変化を探る — OE *-ht* 中の摩擦音消失を中心に
司会 池上 昌（慶應義塾大学名誉教授）
2. 衛藤安治（福島大学）：古英詩 *Andreas* における「不適切な表現」
司会 網代 敦（大東文化大学）

3. Peter Evan (成蹊大学) : *Ælfwine's Prayerbook and the Making of an Anglo-Saxon Miscellany*
司会 小竹 直 (日本学術振興会特別研究員)
4. 小倉美知子 (慶應義塾大学) : 中世英語非人称構文・再帰構文の抵抗
司会 鈴木敬了 (大東文化大学)
5. 都地沙央里 (福岡女子大学大学院) : 16-17 世紀に出版された『狐物語』を観察する — Gaultier 版 (1550) と Allde 版 (1600, 1620) の比較を通して
司会 松田隆美 (慶應義塾大学)
6. 杉藤久志 (上智大学非常勤講師) : ホックリーヴの社会性 : 死と *Series*
司会 松田隆美 (慶應義塾大学)
7. 渡辺美有依 (東京大学大学院) : *The Monstrous Other: Hybridity and Identity in Richard Coer de Lion*
司会 久木田直江 (静岡大学)
8. 井口 篤 (放送大学) : 失われた原典をさがして — *The Prickyng of Love* (c.1380) はどのラテン語写本から翻訳されたのか?
司会 久木田直江 (静岡大学)
9. 玉川明日美 (立教大学大学院) : *The Canterbury Tales* における“fer in the north” — *The Reeve's Tale* と *The Friar's Tale* の方言的特徴とその意義
司会 澤田真由美 (愛知学院大学)
10. 藤原保明 (聖徳大学) : 中英語後期の *there* 構文 — 『トロイラスとクリセイダ』を中心に
司会 澤田真由美 (愛知学院大学)
11. 青木繁博 (新潟青陵大学短期大学部) : プロトタイプ理論と *The Shewings of Julian of Norwich* におけるワードペア
司会 谷 明信 (兵庫教育大学)
12. 小倉美恵子 (鶴見大学) : *Lexical Diffusion and Neogrammarian Regularity*
司会 保坂道雄 (日本大学)
13. 工藤義信 (慶應義塾大学非常勤講師) : チョーサーの「家扶の話」と家扶の自己定義の不安
司会 菊池清明 (立教大学)
14. 貝塚泰幸 (首都大学東京非常勤講師) : 新たな *Gawain* 像を求めて — *The Awntyrs off Arthure* における *Grissell* の死と *Gawain* の涙
司会 野地 薫 (山村学園短期大学)

15. 小宮真樹子（近畿大学）：ボースの選択：*Le Morte Darthur* における騎士道の多様性

司会 小路邦子（慶應義塾大学非常勤講師）

16. 森ユキエ（同志社大学非常勤講師）：『頭韻詩 アーサー王の死』におけるアーサー王の夢の分析

司会 小路邦子（慶應義塾大学非常勤講師）

シンポジウム

Does Spelling Matter in Pre-Standardised Middle English?

司会・講師 堀田隆一（中央大学）

講師 Simon Horobin（オックスフォード大学）

講師 新川清治（白鷗大学）

講師 高木眞佐子（杏林大学）

第 31 回全国大会（2015 年 12 月 5—6 日、慶應義塾大学）

会長講演 松田隆美：暦、巡礼、corpus mysticum

司会 和田葉子（関西大学）

研究発表

1. 岩國智子（広島大学大学院）：*The Romaunt of the Rose-A* における動詞 *ginne* の用法について

司会 尾崎久男（大阪大学）

2. 小倉美知子（東京女子大学）：*Late OE* に見る古英語動詞の形態的統合

司会 尾崎久男（大阪大学）

3. 新川清治（白鷗大学）：ラヤモンの『ブルート』における同格表現：肩書きと人名の語順の変遷

司会 田辺春美（成蹊大学）

4. 海田皓介（千葉大学大学院人文社会科学研究所特別研究員）：古英語・中英語における使役・勧誘表現

司会 佐藤桐子（大東文化大学）

5. 小林茂之（聖学院大学）：12 世紀写本『ケンブリッジ大学図書館蔵古英語版旧約聖書(七書)』における VS 語順から SV 語順への変化について—11 世紀の他の写本と比較して—

司会 佐藤桐子（大東文化大学）

6. 藤原保明 (聖徳大学) : 存在文の *there* の文法化について
司会 家入葉子 (京都大学)
7. 濱田里美 (立教大学大学院) : *The Wife of Bath's Prologue* における中世後期の女性とリテラシーの表象
司会 濱口恵子 (同志社大学非常勤講師)
8. 杉山ゆき (慶應義塾大学大学院) : 科学研究科特別研究員 : 「弁護士の話」 の語りにおけるローマとイングランド
司会 濱口恵子 (同志社大学非常勤講師)
9. 本田崇洋 (福島工業高等専門学校) : チョーサーの巡礼の一側面—『ボエース』との繋がりから—
司会 海老久人 (神戸女子大学)
10. 菅野磨美 (PhD Candidate, King's College London) : 海の向こうのもう一人の女—*South English Legendaries* 「聖ミルトドレッド伝」に見るミソジニーとゼノフォビア—
司会 田口まゆみ (大阪産業大学)
11. 和田 忍 (首都大学東京非常勤講師) : *Lives of Saints* における *Ælfric* のヴァイキングに対する態度 — *English saints* の説話を中心に—
司会 唐澤一友 (駒澤大学)
12. 織田哲司 (東京理科大学) : *OE gif* の「改宗」—ゲルマン人の「おもてなし」から神の恵みへ—
司会 唐澤一友 (駒澤大学)
13. 井野崎千代子 (大阪産業大学非常勤講師) : *Ancrene Wisse* 以前の *conscience* 概念 : *Catholic Homilies I, II, Blickling Homilies* における *vernacular-noun*
司会 小川 浩 (昭和女子大学非常勤講師)
14. 石小軍 (对外経済貿易大学) : 14・15 世紀における貿易と商業の英語語彙について
司会 西村秀夫 (三重大学)
15. 青木繁博 (新潟青陵大学短期大学部) : *Metonymy or Meronymy?* 同意語的でないワードペアについての再考察
司会 西村秀夫 (三重大学)
16. 渡辺直子 (関東学院大学非常勤講師) : *Pearl* における宝石商の天国への軌跡—凡庸な生にこそある希望—
司会 壬生正博 (福岡歯科大学)
17. 小川真理 (明治大学非常勤講師) : 中世ロマンスにおけるエクフラシス —読まれる女性, 絵画化される声—
司会 石井美樹子 (神奈川大学名誉教授)
18. 高宮利行 (慶應義塾大学名誉教授) : *Eugène Vinaver* の *Oxford* 時代 —*The Works of Sir Thomas Malory*(1947)出版への道—
司会 高木眞佐子 (杏林大学)

第 32 回全国大会 (2016 年 12 月 10-11 日、関西大学)

招待発表

Patrick P. O'Neill (ノース・カロライナ大学チャペルヒル校) : Gerald of Wales: A Man of Five Languages

司会 小倉美知子 (東京女子大学)

研究発表

1. 新居達也 (慶應義塾大学大学院) : 「誤読」される政治的身体—John Lydgate の *The Siege of Thebes* における雄弁術の暴力性と解釈不可能性

司会 杉藤久志 (日本大学)

2. 趙 泰昊 (駒澤大学非常勤講師) : 改宗の不在と他者の受容—中英語ロマンス *Floris and Blancheflour* を中心に

司会 今井光規 (摂南大学名誉教授)

3. 野地 薫 (関東学院大学非常勤講師) : プルーデンスは賢妻か?

司会 笹本長敬 (元大阪商業大学教授)

4. 長谷川千春 (大東文化大学) : ガウェインと聖杯—『アーサー王の死』における信仰と反抗

司会 秋篠憲一 (同志社大学)

5. 岡本広毅 (立命館大学) : カズオ・イシグロの中世アーサー王物語—*The Buried Giant* における *Sir Gawain and the Green Knight* の影響

司会 秋篠憲一 (同志社大学)

6. 壬生正博 (福岡歯科大学) : *The Vision of Tundale* における至高天の三位一体について

司会 多ヶ谷有子 (関東学院大学)

7. 伊藤 盡 (信州大学) : 中世主義者 W. G. Collingwood の中世カンブリア再建小説の言語学的再分析

司会 高橋 勇 (慶應義塾大学)

8. 守屋靖代 (国際基督教大学) : 中英語脚韻詩における定型表現—頭韻詩との比較から

司会 寺澤 盾 (東京大学)

シンポジウム

1. Sermons and Biblical Narratives Pre- and Post-Arundel

司会・講師 田口まゆみ (大阪産業大学)

講師 James H. Morey (エモリー大学)

講師 赤江雄一 (慶應義塾大学)

2. チョーサーと多文化共生

司会 地村彰之 (岡山理科大学)

講師 海老久人 (神戸女子大学)

講師 西村秀夫 (三重大学)

講師 中尾佳行(福山大学)
 講師 工藤義信(金沢学院大学)

第 33 回全国大会 (2017 年 12 月 2-3 日、立教大学)

会長講演 地村彰之：チャーサーの館再考
 司会 松田隆美 (慶應義塾大学)

研究発表

1. 濱田里美 (立教大学大学院) : *Sir Gawain and the Green Knight* における語りの
 枠組みとその意味
 司会 不破有理 (慶應義塾大学)
2. 玉川明日美 (立教大学大学院) : *Knighthood of Sir Gawain and the Lord Bertilak*
 — *Sir Gawain and the Green Knight* における「自己」と「評価」—
 司会 不破有理 (慶應義塾大学)
3. 貝塚泰幸 (千葉商科大学他非常勤講師) : 中英語騎士物語における馬の役割に関す
 る一考察
 司会 小路邦子 (慶應義塾大学非常勤講師)
4. 小宮真樹子 (近畿大学) : 王が二人いる国:マロリーの『アーサー王の死』におけ
 る地名と字名
 司会 小路邦子 (慶應義塾大学非常勤講師)
5. 高橋佑宜 (京都大学大学院・日本学術振興会特別研究員) : 古英語から初期中英語
 における語順:動詞の意味・統語的特性から
 司会 小塚良孝 (愛知教育大学)
6. 小林茂之 (聖学院大学) : 古英語版『オロシウス』における主節の動詞文末語順の
 考察
 司会 小塚良孝 (愛知教育大学)
7. 海田皓介 (千葉大学非常勤講師) : 古英語 *hātan* とその関連表現
 司会 小池剛史 (大東文化大学)
8. 衛藤安治 (福島大学非常勤講師) : 古英詩 *Andreas* における街の風景
 司会 網代 敦 (大東文化大学)
9. 新居達也 (慶應義塾大学大学院・日本学術振興会特別研究員) : *John Lydgate* の
 聖母関連詩と *aureate style* の同時代受容をめぐって
 司会 中尾佳行 (福山大学)
10. 末松良道 (元武蔵野大学教授) : ヨーク・サイクルにおけるイエスの裁判—ピ
 ラトとヘロデによる「中世の」法廷—
 司会 米村泰明 (埼玉学園大学)
11. 大沼由布 (同志社大学) : 中世イングランドの百科事典と編纂者たち—アレクサ
 ンダー・ネッカムとバルトロマエウス・アングリクスを中心に
 司会 石黒太郎 (明治大学)

12. Wanchen Tai (慶應義塾大学・一橋大学非常勤講師) : *Paris and Vienne: William Caxton's Romance or History?*

司会 岡本広毅 (立命館大学)

13. 高木眞佐子 (杏林大学) : ウィリアム・キャクストンの印刷用手稿に見るテキスト改変

司会 都地沙央里 (福岡女子大学)

14. 井上典子 (小樽商科大学) : 世紀頭韻詩韻律研究の現況と展望—『ガウエイン』詩人の作品を中心に—

司会 鎌田幸雄 (仙台大学)

15. 松沢絵里 (大阪芸術大学) : サミュエルズタイプ II の4つの文書

司会 堀田隆一 (慶應義塾大学)

16. 池上恵子 (成城大学短期大学部名誉教授・前大東文化大学教授) : 中英語散文 *Gilte Legende* の言語的特徴

司会 井口 篤 (慶應義塾大学)

シンポジウム

The Art of Reading Slowly – 中世英語テキストを精読する

司会・講師 寺澤 盾 (東京大学)

講師 唐澤一友 (駒澤大学)

講師 三浦あゆみ (大阪大学)

講師 田島松二 (九州大学名誉教授)

第 34 回全国大会 (2018 年 12 月 1-2 日、愛知教育大学)

研究発表

1. 井野崎千代子 (大阪産業大学他非常勤講師) : Katherine Group と Wooing Group に見る *Ancrene Wisse* 'inwit' の背景

司会 澤田真由美 (愛知学院大学)

2. 末松良道 (獨協大学非常勤講師) : 中世の異端者としてのイエス—N タウン劇の裁判を中心に—

司会 和治元義博 (北里大学)

3. 野地 薫 (関東学院大学他非常勤講師) : パースの女房の結婚における悲哀—*Whose Woe Is It Anyway?*—

司会 小川真理 (明治大学非常勤講師)

4. 小河 舜 (立教大学大学院) : イングランドにおける古ノルド語由来の地名—同根語による置き換えと古ノルド語話者の古英語に対する理解力

司会 伊藤 盡 (信州大学)

5. 堀口和久（千葉経済大学）：古英語散文における *beon/wesan*+現在分詞構文
司会 小川 浩（東京大学名誉教授）
6. Britton Brooks（東京大学）：Anglo-Saxon Soundscapes: The Song of the Sea
司会 唐澤一友（立教大学）
7. 泉類尚貴（慶應義塾大学大学院・日本学術振興会特別研究員）：中英語期における
丁寧標識の機能—韻文と散文を比較して
司会 片見彰夫（青山学院大学）
8. 村岡宗一郎（日本大学文理学部人文学研究科研究協力員）：使役動詞 *make* の補文内
部の統語構造における通時的な研究
司会 片見彰夫（青山学院大学）
9. 池上 昌（慶應義塾大学名誉教授）：15世紀の韻文ロマンス *Ipomydon (B)* の六音
節行
司会 井上典子（関西大学）
10. 井口 篤（慶應義塾大学）：レジナルド・ピーコックと理性の神学
司会 壬生正博（福岡歯科大学）
11. 小原 平（東京慈恵会医科大学）：Margaret Paston の書簡作成における
amanuenses 達の役割
司会 平山直樹（尾道市立大学）
12. 齊藤雄介（日本大学非常勤講師）：中英語期における *liken* の意味及び用法につ
いて
司会 三浦あゆみ（大阪大学）
13. 藤原保明（筑波大学名誉教授・聖徳大学名誉教授）：初期中英語における語頭の
黙字の <h>
司会 狩野晃一（明治大学）
14. 中尾佳行（福山大学）：「トパス卿の話」の言語とスキーマの多次元構造
司会 西村秀夫（三重大学）
15. 浅川順子（慶應義塾大学名誉教授）：「聖堂参事会員の助手の話」における科学と
テクノロジー
司会 大沼由布（同志社大学）